

シンポジウム

参加費
無料

地域から ジェンダー平等を 2023 ～都道府県版 ジェンダー・ギャップ指数をてこに

2023 12月11日(月)

13時00分～16時00分 12時30分開場

今年は「経済」分野のジェンダー平等実現について考えます。
ジェンダー研究の第一人者と実践企業の代表が一堂に会し、企業
のジェンダー平等推進と地域課題解決をテーマにディスカッションします。

内容

- 開会あいさつ／山脇絵里子
- 都道府県版ジェンダー・ギャップ指数について／三浦まり
- 実践企業の取り組み紹介／及川美紀、鍋嶋洋行
- 男女間賃金格差の現状と社会課題解決への企業の役割／只松観智子
- ディスカッション（閉会后）名刺交換会

キーワード

- 女性活躍推進
- 女性管理職の育成
- エンパワメント
- 健康経営
- ダイバーシティー
- 男女間格差・地域格差
- CSV経営
- 地域活性化

右の二次元コードからお申し込みください

参加方法

会場

先着200人

オンライン

定員なし



会場参加は申込数が定員に達し次第、締め切らせていただきます

東京ウィメンズプラザ ホール

東京都渋谷区神宮前5-53-67

アクセス

東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線
「表参道」駅 B2出口・徒歩7分



パネリスト

登壇者



及川 美紀氏
(株)ポーラ
代表取締役社長



只松 観智子氏
(株)Think Impacts
代表取締役



鍋嶋 洋行氏
大橋運輸(株)
代表取締役社長



三浦 まり氏
上智大学
法学部教授

モデレーター



山脇 絵里子
共同通信社
社会部長

主催：(株)共同通信社

共催：地域からジェンダー平等研究会

後援：内閣府男女平等参画局、経済産業省、全国知事会

協賛：(株)アートネイチャー、井村屋グループ(株)、キッコーマン(株)、共栄火災海上保険(株)、シミックホールディングス(株)、(株)ポーラ

お問い合わせ先

(株)共同通信社 業務推進部内

シンポジウム

「地域からジェンダー平等を」事務局

電話：03-6252-6044 メール：gendergap@kyodonews.jp



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

A/ アートネイチャー



おいしい!の笑顔をつくる
井村屋グループ株式会社

kikkoman
おいしい! 醤油をつくりたい。

共栄火災

CMIC

POLA



地域からジェンダー平等を2023

～都道府県版ジェンダー・ギャップ指数をてこに

登壇者 プロフィール

パネリスト

おいかわ み き
及川 美紀氏
(株) ポーラ
代表取締役社長

1991年ポーラ化粧品本舗(現株式会社ポーラ)入社。エリアマネージャー・商品企画部長を経て、2012年に執行役員、14年に取締役就任。20年1月から現職。誰もが自分の可能性を拓くことができる社会をミッションに、パーパス経営・ダイバーシティ経営を牽引。

ただまつ み ち こ
只松 観智子氏
(株) Think Impacts
代表取締役

外資系のコンサルティングファームを経て、Think Impacts設立。取締役会改革、ガバナンス改革、ダイバーシティ経営などのコンサルティングのほか、NPOの経営支援や政策提言も行う。内閣府男女共同参画推進連携会議・有識者議員。

なべしま ひろゆき
鍋嶋 洋行氏
大橋運輸(株)
代表取締役社長

愛知県瀬戸市の信用金庫に勤務後、結婚を機に、義父が経営する大橋運輸(株)に入社、1998年11月から現職。運輸業でいち早くダイバーシティ経営を推進。最近は地域の課題解決と事業に取り組むCSV経営を目指し、官民連携での地域活動を積極的に行う。

み うら
三浦 まり氏
上智大学
法学部教授

カリフォルニア大バークレー校で博士号。2010年から現職。「ジェンダーと政治」研究の第一人者。都道府県版GGIでは指数監修を担い、地方から日本のジェンダー平等の底上げを図る重要性を説く。主著に『さらば、男性政治』(岩波新書、2023年、石橋湛山賞)。

モデレーター

やまわき えり こ
山脇 絵里子
共同通信社
社会部長

東京外国語大卒業後、共同通信入社。2001年から社会部に配属され、厚生労働省や東京都庁などを担当。ストーカーやDV、女性の政治参画といったジェンダーを巡る課題に長年取り組んでいる。ニュースセンター整理部長、社会部副部長を経て、21年から現職。

地域から
ジェンダー平等

国際女性デー
International Women's Day

2023

あなたの地域の男女平等度合いは？ 都道府県版ジェンダー・ギャップ指数(GGI)

スイスに拠点を置くシンクタンク、世界経済フォーラム(WEF)が公表している男女平等度の指標「ジェンダー・ギャップ指数」で、日本は146カ国中125位と世界最低ランク。では、都道府県別ではどうなのでしょう？ 私たちの住む地域の男女平等の度合いを可視化するため、地域からジェンダー平等研究会がWEFとほぼ同じ手法で統計処理した都道府県別の指数です。

順位付けが目的ではなく、どの分野に男女格差が残るのかを知ること、足元の強みと課題を認識し、地域から日本のジェンダー

平等を実現するのが狙い。ただ、男女で性別を分けることに抵抗がある人もいます。格差が解消され、誰もが生きやすい、取り残されない社会が実現し、こうした指標は不要になることが目標です。

2023年の都道府県版ジェンダー・ギャップ指数

	政治	行政	教育	経済
1位	東京	鳥取	高知	沖縄
2位	神奈川	徳島	2 京都	徳島
3位	千葉	滋賀	2 神奈川	鳥取
4位	栃木	福岡	徳島	東京
5位	京都	福井	鳥取	岩手

詳細は
こちら

